

平成 30 年 9 月 20 日現在

機関番号：32514

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K21347

研究課題名(和文)19世紀英国における能の受容：櫻井錠二・ストープスによる翻訳書出版の経緯の研究

研究課題名(英文)Authentic Japanese Culture Overseas: The Sequence of the Publication of Joji Sskurai's "Plays of Old Japan:No"(1913)

研究代表者

山名 順子(YAMANA, JUNKO)

川村学園女子大学・文学部・准教授

研究者番号：60645886

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,500,000円

研究成果の概要(和文)：日本学術振興会の創設メンバーの一員である櫻井錠二の事績のうち、従来注目されてこなかったスコットランドの植物学者マリー・ストープスとの能の翻訳書"Plays of Old Japan:The No"(1913)出版という文化的活動を見直した。特に、大英図書館に所蔵されている櫻井の往簡200点を調査した結果、櫻井が翻訳における語句の精確性や日本的な感性を重視した挿絵の選択に注力していたことが明らかになった。このことは、日本比較文学史の再編成において重要な役割を担うものと確信する。また、遺族へ聞き取り調査や寄託資料の調査を実施し、書簡との整合性を確認すると同時に、調査結果の還元を行うことができた。

研究成果の概要(英文)：1913, Chemist Joji Sakurai and Scottish Botanist Marie Stopes published one of the first books on Japanese No theater and plays in English, "Plays of Old Japan:The No." This translation has been largely forgotten but the book played an important role in the reception of Japanese literature and culture abroad, influencing the conception of No theater in the work of western Japanologists and thus, indirectly, exerting an important influence on the history of modernism. This research- including examination on 200 Sakurai's letters in British Library collection and original manuscripts in his family's possession- explores these various influences through an examination of the correspondence that Sakurai and Stopes carried out in the course of their collaboration as well as through a close examination of the text- an "exact" English translation of the No choruses- and its illustrations to see how Japanese theater was presented to a Western audience in the early twentieth century.

研究分野：日本近世・近代文学

キーワード：櫻井錠二 マリー・ストープス 能 能の翻訳 日本科学史

1. 研究開始当初の背景

近代日本を代表する化学者である櫻井が、日本の文学・芸能といった伝統文化の海外発信に注力したということは、従来の研究では見逃されてきたテーマである。

しかし、本件は重要な史実であり、国際日本学の観点からも、研究に値するテーマである。

櫻井錠二(1858-1939)は、明治から昭和にかけて活躍した化学者である。特に、理化学研究所、日本学術振興会の設立といった、おもに理化学系の学術振興にかかわる活動が著名である。また、理化学を重視した科学教育論にも熱心な人物であった。学術振興に関する櫻井の事跡は近年にいたるまで継続的に注目され、特に、学術振興会の設立経緯に関する研究(山中千尋『日本近代における学術振興に関する研究: 櫻井錠二による日本学術振興会の設立経緯』2010年、研究課題番号: 23907037)に代表される。

しかし、従来の櫻井錠二研究が学術振興に関するものが偏重される一方で、櫻井錠二の文化活動については、これまで重視されず、まとまった研究はなかった。

1913年、櫻井は、英国留学後に知己を得たスコットランドの生物学者マリー・ストープスとともに、能の翻訳書『Plays of Old Japan: The 'Nô''』をロンドンで出版した。この著書は、海外で出版された、能に関する初めての専門書であり、以後、エズラ・パウンド(1885-1972)の名著(『Noh, or, Accomplishment: A Study of the Classical Stage of Japan』1916)にも多大な影響を与えたとの指摘もある。しかし、この国際的な事跡は従来軽視されがちであり、パウンドへの影響にわずかに触れた研究(成恵卿『エズラ・パウンドと能 出会い、そして展開』1991)があるほかは、大きな発展はなく、現在にいたるまで研究が進んでいなかった。しかし、化学者である櫻井が、日本の文学・芸能といった伝統文化の海外発信に注力したということは重要な史実であり、また、比較文学・国際日本学の観点からも、研究に値するテーマであると考えられた。

2. 研究の目的

日本学術振興会の創設メンバーの一員である化学者櫻井錠二が、ストープスとの共著『Plays of Old Japan: The 'Nô''』において能を英訳・出版したという文化的活動を見直すことによって、海外にむけた日本伝統芸能の発信者としての櫻井を再評価し、日本比較文学史を再編成する基礎とすることにある。

3. 研究の方法

上記2の目的のため、従来の研究における、日本学術振興会創設に関する実証的な資料調査を踏まえた上で新資料を博捜・調査し、本書出版当時の状況を広く理解し、研究へ還元するという方法を採用する。資料はデータベースにまとめて所蔵機関に還元し、今後の櫻井錠二研究に寄与する。

櫻井錠二の事跡のうち、文化活動に関する記述を博捜し、化学者としてのみならず、海外にむけた日本文化発信の先駆けとしての櫻井錠二について再考することを試みる。特に、能の翻訳書『Plays of Old Japan: The 'Nô''』に注目し、再翻訳の準備を行う。

国内外の機関に所蔵されている、櫻井錠二に関連する資料を博捜調査し、櫻井本人の書簡・手記といった私的資料の精査および翻訳を行うことを目指す。

櫻井錠二の事跡を理解するために、櫻井の自筆資料および関連史資料等の調査を行う。特に、在外機関の所蔵する資料の積極的調査を実施する。特に、2014年の予備調査で存在が明らかになった大英図書館所蔵の櫻井によるストープス宛書簡200点の実見調査を行い、書誌データ収集および翻刻・翻訳を実施する。また、石川県金沢市のふるさと偉人館の所蔵資料を中心に、国内の所蔵機関における櫻井の私的資料を調査する。

櫻井錠二の遺族に対する聞き取り調査を実施し、データを遺族に還元する

櫻井錠二の遺族・親族に対する聞き取り調査を実施する。対象者が高齢であることにも留意し、調査は複数回実施する。調査内容は、許可を得て録音のうえ文字データに起こすなどして蓄積し、必要に応じて遺族へ積極的に還元する。なお、これらのデータは厳重に取り扱い、公開の範囲は研究終了後も含めて、一貫して遺族の意思に従うものとする。

能楽・日本科学史における研究を含めた各分野における研究と視座を共有し、櫻井錠二研究における本研究の位置づけを明らかにすることを試みる。

- の研究と同時に能楽研究者や、日本科学史における櫻井に関心を持つ研究者と交流し、各分野における視座を共有するほか、櫻井錠二研究における本研究の位置づけを明らかにすることを試みる。また、最終年度には国際学会における研究発表を行い、国際日本学の視点からの本研究に対する大方の御教示を得ることを試みる。

4. 研究成果

従来の研究における、日本学術振興会創設に関する実証的な資料調査を踏まえた上での新資料の博捜・調査を通じた、本書出版当時の状況の理解および研究結果の開示準備を行った。

櫻井錠二の事績を理解するため、櫻井の自筆資料および関連資料等の調査を行った。特に、櫻井の遺稿『思ひ出の数々』については、遺族より一般に流通しているものとは異なる版（非売品）の委託を受け、書簡における記述との関連を確認する作業にも着手した。これらの研究結果は現在整理中であり、なお、今回の調査結果については、研究倫理に則って適切に処理することを含めて遺族・親族の了承を得ている。

国内外の機関に所蔵されている、櫻井錠二に関連する資料を博捜調査し、櫻井本人の書簡・手記といった私的資料の精査および翻訳を行った。

2014年度の前備調査で再発見した、大英図書館所蔵のマリー・ストープス宛書簡等約200点のうちすべてについて実見調査および翻刻を実施した。その結果、書簡の内容から、櫻井が当時出版されていた外国人の手になる能の翻訳書に対して、特に訳語の面で批評を行っていること、また、"Plays of Old Japan: The No"における翻訳の精確さや挿絵の場面選択に対する強い自信と自負を示していたことが明らかになった。この成果については、学会発表にて発表が決定している。ほか、翻刻データを整理し、報告書・データ集の形でご遺族に還元した。

また、書簡からは、東京においてストープスとともに能楽鑑賞を行った形跡がみられた。これに関連して、石川県金沢市の金沢ふるさと偉人館や金沢能楽美術館における調査を実施した結果、櫻井の能への興味は、櫻井自身が、文化的に能楽に対する関心が深い金沢の出身であることに由来している可能性が強いことが理解できた。このことから、櫻井に関する他の研究分野についての知見を深め、櫻井の人生における能楽をはじめとした文化的興味の位置づけを多角的に研究することが今後の研究課題として見えてくるに至った。

櫻井錠二の遺族に対する聞き取り調査を実施し、データを遺族に還元した。

櫻井錠二の遺族・親族会に参加し、遺族に対する聞き取り調査を複数回にわたって実施した。特に存命中の櫻井を直接知る人物からの聞き取りを積極的に行った。調査の内容

は文字を中心として記録し、一部は許可を得て録音した。また、ご遺族が所蔵されている櫻井の自筆資料および関連資料の委託を受け、書誌データおよび翻刻を含めた調査を行う機会を得た。これらのデータはの成果と共にデータとして蓄積、ご遺族へ一部還元した（報告書・データ集）。

能楽・日本科学史における研究を含めた各分野における研究と視座を共有し、櫻井錠二研究における本研究の位置づけを明らかにする基盤を調え始めた。

櫻井錠二の事績のうち、文化活動、特に海外にむけた日本文化発信について再考するための手がかりとして、"Plays of Old Japan: The No"の再翻訳を開始し、全体の約五割について翻訳を行った。また、能楽に関する書籍および視聴覚資料を購入すると同時に、能楽堂における能楽鑑賞を行い、役者にお話をうかがうなど、翻訳書の内容理解に努めた。なお、書簡の記述からは能楽の翻訳のみならず、日本における科学教育発展に対する櫻井の強い熱意や周囲の人々への深い愛情が示されていることが理解できた。このことから、今後は日本科学史における櫻井に関心を持つ研究者と交流し、各分野に関する視座を共有するほか、櫻井錠二研究全体における本研究の位置づけを明らかにする必要性が理解できた。調査資料の性質に鑑み、遺族・親族との連携を取りながら積極的に取り組みたい。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

本課題は、資料の性質上私的な内容が多いため、また、2015年の資料調査の段階で、英国独自の著作権制度に基づく規制から内容の公開に慎重を期す必要があることが明らかになった。そのため、研究成果は遺族・親族の許可を得ながら順次発表していくことが求められる。

〔雑誌論文〕(計 0 件)

〔学会発表〕(計 1 件)

発表者名：Junko YAMANA

発表タイトル：Authentic Japanese Culture Overseas: The Role of Mary Stopes and Joji Sakurai and their Plays of Old Japan (1913)

学会等名：Association of Japanese Literary Studies Annual Meeting 2018 (国際学会)

発表年：2018.09 (決定)

〔研究報告〕(計 5 件)

発表者名：山名 順子
発表標題：櫻井錠二による能の翻訳書出版の経緯に関する研究 方法と展望
報告会名：平成 27 年度九和会例会（招待）
発表年：2015 . 04

発表者名：山名 順子
発表標題：大英図書館所蔵の櫻井 - ストープス書簡に関する調査結果報告（1）
報告会名：平成 28 年度九和会例会（招待）
発表年：2016 . 04

発表者名：山名 順子
発表標題：大英図書館所蔵の櫻井 - ストープス書簡に関する調査結果報告（2）
報告会名：平成 29 年度九和会例会（招待）
発表年：2017 . 04

発表者名：山名 順子
発表標題：大英図書館所蔵の櫻井 - ストープス書簡に関する調査結果報告（3）
報告会名：平成 30 年度九和会例会（招待）
発表年：2018 . 04

発表者名：山名 順子
発表標題：櫻井錠二に関する委託資料調査に関する調査結果報告および解説
報告会名：平成 30 年度九和会例会（招待）
発表年：2018 . 04

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

報告書・データ集

報告者名：山名 順子
題 名：櫻井錠二による能の翻訳書出版の経緯に関する研究 大英図書館所蔵ストープス文書における櫻井 - ストープス書簡の翻刻および委託資料に関する調査結果報告（第一稿）
発表年：2018 . 04

ホームページ等(備考)

本課題の研究成果の一部については、櫻井錠二の遺族・親族会である九和会の許可を得ながら、同会に関連するウェブサイトにて段階的に掲載を行う旨ご遺族の合意がとれている。

6 . 研究組織

(1)研究代表者

山名順子 (YAMANA, Junko)
川村学園女子大学 准教授
研究者番号：60645886

(2)研究分担者

()

研究者番号：

(3)研究協力者

()